

愛しいてい

I C T

No.1

H25.7.1

ICT活用の目的

(1) ICT活用は「わかりやすい授業を実現」するため

ICTを活用する目的は、これまでの授業をさらに良くして、児童生徒に確かな学力を身につけさせることです。

ICT活用は、教科の目標を達成するための手段です。つまり、ICTは、授業を良くするための「道具」だということです。

教室で日常的にICTを活用することで、「わかる・できる」授業を実現することが、ICTを活用する目的なのです。(※ ちなみに、ICTが学力向上に大きな効果をもたらすという点については、全国の数百の調査事例で証明されています。)

(2) すべての教員に求められているICT活用

「ICT活用とは、パソコンの得意な先生が行う特別なこと」という誤解があります。また、「ICT活用はパソコン室で行うこと」という誤解も根強くあります。

ICT活用とは、普通の先生が、普通教室で分かりやすい授業をするためのものです。

我国が積極的に推進している「教育の情報化」においては、授業を行うすべての教員に対してICT活用が求められています。

(3) 授業スタイルを変える必要はない

「ICT活用」と聞くと、「授業のやり方を変えなければならない」などと不安になったりする人もいるかもしれません。でも、心配はご無用です。授業スタイルを変える必要は全くありません。従来通りの授業過程で、ICTを使うと効果のある場面でのみ使えばいいのです。言い換えれば、今までの授業の仕方の延長で、格段の効果を得ることができるのがICT活用と言えます。次号からは、その具体的場面や方法についてお知らせします。楽しみに。

情報通信発刊の辞

尾崎小学校の教育情報化を進めるために、通信を発行します。先生方の役に立つ情報を提供していきますので、目を通していただければ嬉しいです。ICT活用で授業をもっと良くしていきましょう。ICTを「愛しいてい」ね！。

